



11月3日（日）、西武池袋線東久留米駅に参集したのは15人のメンバー。  
バスで史跡公園まで移動。初秋の武蔵野台地の爽やかな風を感じながら、野火止用水沿いを散策。メンバーの中には晩飯用にする為か、散策路沿いの路地販売所から秋の食べ物のサツマイモ・イチョウ・柿・栗等を買求める人もいました。



史跡公園での本流と平林寺堀と分岐



散策

途中の新座市体育館で休憩。伊豆殿橋（\*）から更に平林寺に向かい散策。

平林寺は南北朝時代の永和元年（1375）武蔵国武州（現在のさいたま市岩槻区）に創建され、徳川時代に川越藩主の松平信綱の一族の菩提寺として、野火止（現在の新座市）に移転した。

境内は東京ドーム9個分の広さで、散策路は整然と立ち並ぶ雑木林、松林、青楓や紅葉の樹林等初秋を感じさせる美しさを湛えていました。

境内奥には信綱一族等の墓群が所狭しとばかりに立ち並んでいて、壮観でした。

散策終了後は平林寺総門近くのそば屋でビールで喉を潤し、散会しました。



松平伊豆守信綱の墓



広い境内を歩く

\*伊豆殿橋

松平信綱は幕府老中として3代将軍家光、4代将軍家綱に仕え、玉川上水開削や島原・天草の一揆を平定を代表とする優れた治世を多く行い、その先見の明から「知恵伊豆」と呼ばれた。

\*「野火止用水」

野火止用水は1655（承応4年）、川越藩主松平信綱により、武蔵国開発の一環として、野火止台地開発のために入植した人々の飲料水・生活用水確保を目的に開削された用水路。水源は東京都小平市を流れる玉川上水。



昭和30年代までの風景

\*「野火止」

昔、焼き畑農業が行われていた頃にその火が人家に及ばないように塚や堤を築いて火を止めたこと。

（菅原清徳・記）

案内人一言

西武池袋線の東久留米駅は富士山のみえる駅で「富士テラス」もある。近年、高層ビルが立ち並び、その谷間の富士もいいが、残念ながら、当日は午後でかすんでいた。

